

ワケ カタチには理由がある(123)

Shape follows Function
& Taste

～ビッカース432 試作高高度戦闘機



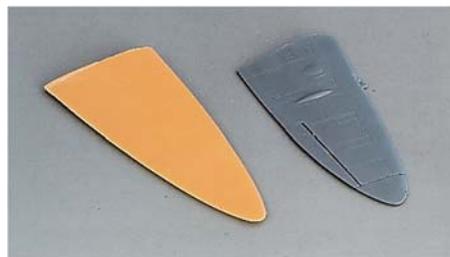
(↓ウェルキンと)



	Welkin I	Vickers 432
Engines	two Merlin 176/77	two Merlin 61
Take-off power (each)	1,650 hp (1230 kW)	1,565 hp (1167 kW)
Dimensions		
Span	70 ft 0 in (21.34 m)	56 ft 10½ in (17.34 m)
Length	41 ft 6 in (12.65 m)	39 ft 3 in (11.96 m)
Wing area	460 sq ft (42.73 m²)	450 sq ft (41.80 m²)
Weights (with fixed equipment)		
Empty	64,420 lb (6541 kg)	16,373 lb (7427 kg)
Loaded	19,840 lb (8999 kg)	20,168 lb (9148 kg)
Performance		
Maximum speed	387 mph (623 km/h)	est 435 mph (700 km/h)
at height	26,000 ft (8530 m)	28,000 ft (8534 m)
Service ceiling	44,000 ft (13411 m)	43,500 ft (13259 m)
Climb to 15,000 ft (4570 m)	5.5 min	5 min
Range	1,500 miles (2415 km)	1,500 miles (2415 km)
Armament	four 20-mm	six 20-mm

(ウェルキンとの諸元比較表(出典：『Wings of Fame』 vol.6(Aerospace Publishing))→

本機ビッカース 432 は、英国空軍からの高高度戦闘機の仕様に応募した試作機であって、ウェストランド・ウェルキンと競作になりました。いずれも二段過給機を有するマーリンエンジンを搭載した機体でしたが、本機体がこの勝負に破れて、ウェルキンが正式化されることとなります(とはいえ、ドイツ空軍が高高度爆撃機に本腰を入れなかったため、結局、ウェルキンも実戦投入されることはありませんでした)。高高度ならではの課題として与圧キャビンがありますが、この機体のキャノピーは半球状の形状で、機内を与圧していることがわかります。また、エンジンナセルからの外翼が、スピットファイアと同じ? という疑問もあったのですが、パーツ状態で比べてみると、スパンは違うものの輪郭は似ていますw。スーパーマリン社はビッカース社の子会社ですから、同社は手っ取り早く子会社の主翼輪郭データを利用したのかもしれませんが。



(↑スピットファイアの主翼形状と比較)

【模型について】

チェコの KORA model の 1/72 のレジンキットです。外翼、内翼、エンジンナセルを別パーツとしているなどバラバラで、カタチにするだけでも一苦勞でありました。(中川裕幸 2025年6月)